

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和6年1月23日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから1月23日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明いたします。

まず明日ですが、第60回原子力規制委員会と第61回原子力規制委員会臨時会を開催の予定です。国会の関係の時間の調整を今行っておりまして、開催時間については決まり次第お伝えしたいと思います。

まず、第60回原子力規制委員会ですが、議題は2つございます。

議題1は「原子炉補機冷却系等の汚染に関する調査・分析から得られた知見の規制への反映に向けた検討状況」です。

本検討は、1F（福島第一原子力発電所）事故の知見を規制に取り入れ、継続的に安全性の向上を図る取組の一つで、昨年8月末の定例会で優先的に検討を始める論点としてこれを整理しまして、検討を進めてきているものでございます。

福島第一原子力発電所においては、1号機で格納容器の下の機器類を冷却するための配管が圧力容器から落下した溶けた核燃料で損傷して、放射性物質が漏れ出た可能性があるとしております。8月の委員会では、この知見の検証を進めまして、規制に取り入れる必要があるかどうか検討するというのを喫緊の課題と整理いたしました。

この具体的な検討は、福島第一原子力発電所事故に関する知見の規制への取入れに関する作業チームにおいて行われております。明日は第5回の作業チームで、11月にプラントごとに圧力容器の下にどのような配管が配置されているのかということを実業者から聴取しておりますので、その結果の取りまとめと今後の対応方針案について委員会に諮るというものでございます。

議題の2は「国特有の安全文化フォーラムへの参加報告」です。

本件は、昨年12月14日・15日両日で東京にて開催をされました、経済協力開発機構原子力機関の、国特有の安全文化フォーラムへの参加結果を報告するものでございます。

このフォーラムには、日本から原子力事業者が約70名、原子力規制委員会からは20名が参加してございます。フォーラムでは、原子力発電所内での事業者内のやり取り、また、事業者と規制機関とのやり取りなどを模擬したロールプレイが行われまして、安全

文化の観点から気づきを得るということを目指して議論が行われております。明日の報告では、このフォーラムに参加した職員も多数出席いたしまして、それぞれが気づいた点などを委員会で報告することを予定しております。

第61回原子力規制委員会臨時会が、明日、現時点では夕刻の時間が入っておりますが、これも国会日程の関係で動く可能性がありますので、決まり次第、またお伝えしたいと思います。お時間についてはまたお伝えします。臨時会合が開かれます。

議題は3つです。いずれも核物質防護に関するものであるため、会議そのものは非公開となっております。

議題の1は「原子力施設の核物質防護に係る審査基準等の改正等」です。

原子力施設の核物質防護の審査基準の改正を図るもので、本件は昨年7月に一度案を臨時会にお諮りした後、事業者に意見聴取を実施しておりました。改正の内容は、管理区域の出入り管理措置や核物質防護規定の申請手続などを合理化するものでございまして、明日は事業者から規制庁の案に寄せられました意見への考え方と審査基準の改正案について了承・決定を諮る予定となっております。

議題の2は「核物質防護に係る原子力規制検査の対応方針」です。

これは、昨年12月27日に了承されました、令和5年度検査で柏崎刈羽原子力発電所において重点項目として検査をしていくものにつきまして、この第4四半期に具体的に何を検査していくかということの対応方針を諮るものでございます。

また、これと併せまして、令和6年度から導入します核物質防護の日常検査について、従来行ってまいりましたチーム検査との役割分担や、日常検査の試運用の計画など、その検討状況を報告する予定となっております。

議題の3は「国際原子力機関（IAEA）核セキュリティガイダンス委員会（NSGC）第24回会合結果概要－IAEA核セキュリティ・シリーズ上位文書の改訂状況－」です。

これは、昨年12月11日から13日にかけてIAEA核セキュリティガイダンス委員会で審議されました核セキュリティ・シリーズの文書改訂の状況について報告を行うものとなっております。

本日の広報日程は以上でございます。

<質疑応答>

○司会 では、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

司会の広報室中桐より、明日の原子力規制庁委員会定例の記者会見につきましても、国会の対応の関係で時間の変更の可能性がございます。変更の場合は、決まり次第お知らせいたします。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございます。

た。

—了—